

平成28年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(推薦入試Ⅰ)

# 小 論 文

(地域学部 地域政策学科)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。  
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙(横書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

問題 次の資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：桂木隆夫「日本社会と外国人受け入れ問題」、井上達夫・名和田是彦・桂木隆夫『共生への冒険』（毎日新聞社、1992）、一部改変（小見出しを削除）。

【問1】

「共感のモラル」と「排除の論理」の関係を筆者の主張にそって 300 字以内で述べなさい。

【問2】

地域コミュニティでは、さまざまな国籍や文化や習慣をもった人々が一緒に暮らすことでトラブルが生じることがあり、その解決が課題となっています。この資料は約 20 年前の日本社会の状況を著していますが、現在の日本の状況をふまえて具体的な課題を想定し、その背景と問題点、さまざまな人々が共生するために必要だとあなたが考える取り組みについて、800 字以内で述べなさい。